

地震に関する備忘録

地震はいつ起きるか予測できませんが、神崎学区では**震度6弱**の強い地震が想定されています。地震が発生したときに命を守る行動が取れるよう、日頃からイメージしておきましょう。

- ☐ 家屋の耐震補強、家具の固定を行いましょう
- ☐ 家族で避難場所（合流場所）を決めておきましょう
- ☐ 家庭内備蓄を行いましょう

地震発生！

緊急地震速報

まずは身を守る

揺れが収まったら

- ・ドアや窓を開けて出口を確保
- ・ブレーカーを落とし、ガスの元栓を締める
- ・火が出ていたら消火を
- ・テレビ、ラジオ、スマートフォンで情報収集
- ・靴を履いて足元のけがを防ぐ

避難の判断

⇒ 自宅が安全と判断したら

自宅待機

- ・家庭内備蓄を活用
- ・余震や火災が広がる恐れがあるので、いつでも避難できる体制を準備

⇒ 自宅にとどまるのが危険と判断したら

避難

- ・落下物やブロック塀の倒壊に注意
- ・非常時持ち出し品を持参
- ・緊急車両の妨げになるので車で避難しない

神崎学区 災害時に役立つ場所 マップ

凡例	
	AED設置箇所
	公衆電話
	コンビニ
	公衆便所
	郵便局
	交番



このマップは広島市防災
まちづくり基金を活用した
防災まちづくり事業により
作成したものです

保存版

神崎自主防災連合会
令和4年10月作成

(内容についてのお問い合わせ)
中区役所市民部地域起し推進課 TEL (082) 504-2820

神崎防災マップ（高潮）

「指定緊急避難場所」

- 1 神崎小学校
- 2 神崎保育園
- 3 神崎南集会所

「浸水時緊急退避施設」

- 1 平和大通り電気ビル
- 2 トーヨー河原町店
- 3 ハイパーハリウッド
- 4 広島市立舟入病院
- 5 パラシオン舟入
- 6 ミロワール舟入

「高潮警戒レベル3（高齢者等避難）」
が神崎学区に発令されたとき、
指定緊急避難場所を開設します。

凡例（高潮）	
想定される 浸水深	5.0m以上 (2階屋根以上が水没)
	2.0m～5.0m未満 (2階部分が水没)
	1.0m～2.0m未満 (1階部分が水没)
	0.5m～1.0m未満 (床上までが浸水)
	0.5m未満 (床下が浸水)

「浸水時緊急退避施設」とは、高潮・津波の際に、逃げ遅れた市民等の緊急・一時的な退避場所として使用することにつき所有者等の承諾が得られた施設です。（市が開設する指定緊急避難場所ではなく、地震などの際の滞在先として使用するものではありません。）

神崎防災マップ（津波）

「浸水時緊急退避施設」

- 1 平和大通り電気ビル
- 2 トーヨー河原町店
- 3 ハイパーハリウッド
- 4 広島市立舟入病院
- 5 パラシオン舟入
- 6 ミロワール舟入

凡例（津波）	
想定される 基準水位	5.0m以上
	4.0m以上5.0m未満
	3.0m以上4.0m未満
	2.0m以上3.0m未満
	1.0m以上2.0m未満
	0.3m以上1.0m未満
	0.3m未満

「浸水時緊急退避施設」とは、高潮・津波の際に、逃げ遅れた市民等の緊急・一時的な退避場所として使用することにつき所有者等の承諾が得られた施設です。（市が開設する指定緊急避難場所ではなく、地震などの際の滞在先として使用するものではありません。）